



「純情産地いわて応援団長就任式」 「2023いわて純情むすめ認定式」

令和5年6月27日(火)



阿部さんにタスキを授与する天津木村さん



高橋県本部長より委嘱状が授与されました



「純情産地いわて応援団長」天津木村さん



応援よろしくお願いします!



左から村中咲心さん、岩槻日菜さん、阿部愛さん、鷹觜萌香さん、高橋美有さん

しもえか)さん(21)、北上市の大学生阿部愛(あべめぐみ)さん(21)、盛岡市の大学生岩槻日菜(いわつきひな)さん(21)、同市の大学生村中咲心(むらなかさきみ)さん(19)の5名。身にまとった水色、黒、白の衣装は、岩手の豊かな自然とひたむきに仕事に取り組む農家の姿をイメージしています。一人ひとりに高橋県本部長から認定書、天津木村さんからタスキが授与されると、阿部さんが代表して「笑顔を絶やさず精一杯、販促やPRを行いたい」と決意を表明しました。

式のなかで天津木村さんは「県外出身者だから分かる岩手の魅力を、生産者の思いとともに、全国や県民の皆さんに伝えていきたい」と熱意を語りました。最後に詩吟を披露し、純情むすめと一緒に「あると思います!」という決め台詞を唱和し、会場は大きな拍手に包まれました。

「純情産地いわて応援団長」と「いわて純情むすめ」は県内外で行われるイベントやキャンペーンに参加し、「純情産地いわて」を盛り上げていきます。

令和5年6月27日(火)、岩手県盛岡市内のホテルで「純情産地いわて応援団長就任式」ならびに「2023いわて純情むすめ認定式」を行いました。

「純情産地いわて応援団長」は、県産農畜産物のブランド認知向上を目的に、今年初めて設置されました。初代団長には、2021年4月より岩手県に移住し「いわて応援芸人」として活動するお笑いコンビ「天津」の木村卓寛(きむらたくひろ)さんが就任。高橋司県本部長より委嘱状が授与されました。これまで「いわて牛応援団長」や「いわて純情米応援団長」を務めてきた天津木村さんは、今回の「純情産地いわて応援団長」就任により、県産農畜産物をトータルでPRしていくこととなります。

続いて「2023いわて純情むすめ認定式」が行われ、天津木村さんは初仕事として式に出席し、ともに県内外での販促・PR活動に取り組む仲間を激励しました。

34代目のいわて純情むすめとして認定されたのは、一関市の大学生高橋美有(たかはしみゆ)さん(23)、盛岡市の社会人鷹觜萌香(たかのは

地域農業の担い手支援 活動事例を報告

令和5年7月7日(金)

岩手県TACパワーアップ大会

本会は7月7日、滝沢市の岩手産業文化センターアピオで「令和5年度 岩手県TACパワーアップ大会」を開きました。

本大会は、県内各JAで活動するTAC(地域農業の担い手を訪問し課題解決をサポートするJA担当者)の活動事例や情報の共有、全国大会「TACパワーアップ大会」での受賞を目指すことによる相互研鑽を目的に、毎年実施されています。

今年度は4つのJAからエントリーがあり、うちJAいわて中央、いわて花巻、江刺のTACが活動事例を発表しました。県内JAのTAC、県、本会から関係者およそ60名が出席し、発表者の活動報告に耳を傾けました。

発表者は、今後内容を見直して「TACパワーアップ大会2023」に応募し、地区別審査を突破し11月16日、17日に横浜市で行われる全国大会出場および表彰を目指します。



TACの活動報告に耳を傾ける参加者

岩手県産野菜を使ったカレーレシピを公開

令和5年7月11日(火)

官民一体の地産地消キャンペーン

本会と岩手県、ハウス食品は7月～8月にかけて三者共同の地産地消キャンペーンを実施しています。7月11日、県庁内の記者クラブで「岩手県産彩り野菜のキーマカレー」のレシピを発表しました。ハウス食品が2009年から始めた同キャンペーンは、毎年、県産食材を使ったカレーレシピを公開。家庭での地産地消の推進と県産食材の消費拡大を目的としています。

今年のレシピは、フライパン1つで簡単に作れるキーマカレー。1.5センチ角と大きめに切られたトマト、ピーマン、ズッキーニ、ナス、タマネギの食感や彩りを残し、県産野菜をしっかり楽しめるレシピになっています。ごはんには炊き上がりの白さと軽やかな食感が特徴の「銀河のしずく」を使用。また、煮込み時間が短くて済むキーマカレーにしたこと、食材をみじん切りではなく大きめにカットすることで、一般的なカレーに比べ調理時間を10分程度短縮。調理にかかる労力や光熱費の負担軽減にも配慮しました。

キャンペーンは8月31日まで。期間中は県内のスーパーやテレビCM、ハウス食品のホームページでレシピを紹介しています。



左からいわて純情むすめ鷹嘴萌香さん、ハウス食品の山本晋司東北支店長、本会の三浦瑞明園芸部部長、じゅんき君



「岩手県産彩り野菜のキーマカレー」

大学生を食でサポート

令和5年7月12日(水)、18日(火)、19日(水)

岩手県内4大学に県産食材贈呈

本会では、物価高騰などにより食費の負担が重くなっている学生へのサポートを目的に、学食で使用する食材の提供を実施しました。県産食材の贈呈式は、12日に盛岡大学、18日に岩手大学と岩手県立大学、19日に富士大学で行われました。大学への食材贈呈は今年で3回目となります。

そのうち盛岡大学では、本会林伸彦副本部長から、高橋俊和学長に県産食材の目録が手渡されました。今回贈呈した食材は、「いわて牛」「いわて純情豚」各60kg、ブランド米「銀河のしずく」300kgをはじめ、トマト、キュウリ、タマネギなど合計512kg相当。贈呈式で林副本部長は「大学時代は、人生の中でも多くを学び、たくさん考える大切な時期。食材提供を通じて充実した学校生活をサポートし、岩手の食材の美味しさを実感してもらえたら」とあいさつしました。目録を受け取った高橋学長は「コロナ禍の影響は少し改善しつつあるものの、学生の多くは依然苦しい経済状況にある。そんな中で食材を支援いただき本当にありがたい。こうして岩手の方々に支えられていることに感謝しながら、美味しい岩手の食材を噛み締めて味わってほしい」と語りました。

食材は、学生食堂のメニューに使われ、盛岡大学では学生の食堂利用が増えるテスト期間(7月17日～21日)に提供。「カレーライス」「唐揚げ油淋鶏丼」など定番人気メニューが通常より安い価格で提供されるほか、「トマトキーマカレー」など期間限定の特別メニューも登場します。

本会では、食材の提供を通じて学生を栄養面でサポートするとともに、「地域社会の一員として、強く根を張る」取り組みを今後も進めてまいります。



贈呈した食材が使用された岩手大学学生食堂のメニュー

贈呈式の様子



盛岡大学



岩手大学



岩手県立大学



富士大学



まへむきに
ひたむきに
純情産地
いわて

INTRODUCTION

生産資材部

生産資材部 農業機械課の取り組みについて

農機コスト低減に向けた共同購入の取り組みについて

はじめに

JAいわてグループでは、農機コスト低減に資する共同購入の取組みにおいて、岩手県版としてJAいわてグループ推奨型式草刈機を推進しています。加えて、次期共同購入ではコンバインに取り組むこととしており、継続的に農機コストの低減に取り組めます。



2023 JAいわてグループ農業機械フェア

1. JAいわてグループ推奨型式草刈機の推進

令和5年4月より農機コストの低減に向けた取り組みとして、全国展開する共同購入に加えて、岩手県版の共同購入を開始し、JAいわてグループ推奨型式として2種類の草刈機（クボタ製）の販売をおこなっています。

岩手県版共同購入は、県内で需要の高い機種に絞り込んで、一括購入することでスケールメリットを最大化し、農機購入費を抑える取り組みになります。

法面草刈機（GC-K502EX）は、簡単操作で最長2.1mまでハンドルを伸ばすことが出来るため、高いあぜや狭いあぜ等、様々な条件で安全な作業が可能になります。

畦畔草刈機（GC705RD-FC）は、「サイクロン式エアクリーナ」搭載で、乾燥した転作田のような土ぼこりが舞いやすい場所での草刈りに威力を発揮します。

また、岩手県版共同購入の特典として、交換用刈刃（1台分）をもれなくプレゼントいたしますので、メンテナンスにおける部品代も低減されます。

草刈機の更新をお考えの方や、もっと楽に草刈作業をしたいという方は、是非この機会にご検討下さい。ご購入を希望される方は、各JA農機センターへお問合せ下さい。

JAいわてグループ

岩手おすすめ

JAいわてグループ推奨型式

草刈機キャンペーン!

2023年4月1日～2024年3月31日

GC-K502EX L6421-91501
メーカー希望 294,800円(税込) **+刈刃**

GC705RD-FC L6381-91101
メーカー希望 328,900円(税込) **+刈刃**

JAいわてグループ推奨型式をご購入いただく
特別価格でのご提供 さらに **交換用刈刃プレゼント!**

*工賃は別料金がかかります。

JAいわてグループ推奨型式 草刈機

おすすめポイント

簡単操作で、条件に合わせ思い通りの作業ができる

クボタサイン方式法面草刈機

GC-K502EX
最大出力 23馬力 (ネット値)
刈幅 500mm
刈高さ 20/30/40mm

最長2.1mまでハンドルが伸ばせ、しかも無段階に伸縮できるので高いあぜや狭いあぜ等さまざまな条件に対応します。

「サイクロン式エアクリーナ」搭載でメンテナンス性UP! トラブル未然防止

クボタ畦畔草刈機

GC705RD-FC
最大出力 5.6馬力 (ネット値)
刈幅(上面) 300mm
刈幅(前面) 400mm
刈高さ(上面) 15/35/55mm
刈高さ(前面) 16/28/40/52mm

乾燥した転作田等、土ぼこりが舞うあぜ草刈りに威力を発揮。エレメントの目詰まりによるトラブルを防ぎます。

2. 共同購入コンバインの取り組み(第3弾)

JAグループでは、農機コスト低減にむけて「共同購入」に継続的に取り組んでいます。

第1弾の大型トラクターでは平成30年度から3年間で2,214台を販売し、第2弾の中型トラクターでは令和2年度の取組開始から4,300台以上を全国で販売しました。第3弾では、1haあたりの利用経費が高いコンバインの共同購入に向け着手しています。今回も、生産者の皆様からの需要を結集し、低価格での販売を目指しています。

共同購入コンバインの製品発表は令和6年1月、供給開始は令和6年4月を予定しています。

共同購入 第3弾

生産者 & JA 共同購入コンバイン

全国7千件以上の声を反映して 機能を厳選

4条刈50馬力クラス 事前申込受付中

生産者の皆さまの申し込みが、低価格実現の大きな力に

大型・中型トラクターは、全国の生産者の皆様との共同購入への結集により、標準機と比較して約2割～3割の低価格を実現できました。第3弾として、利用経費の低いコンバインについて、全国7千件以上の生産者アンケートおよび県内生産者との意見交換をもとに必要機能を厳選し、メーカーへ開発要求をおこないました。現在、全国の生産者の需要結集に向け、事前申込書をとりまとめ取り組みを実施しております。みなさんの事前申込書が、低価格実現の大きな力となりますので、ぜひご協力をお願いします。

要求した主な機能

- 車体水平制御
- 幅広クローラ
- 刈取オートクラッチ
- 掻き込みペダル・スイッチ
- オーガ自動制御(旋回、収納)
- 大型後方ミラー(左右)
- 1日作業可能な燃料タンク

令和5年6月まで 事前申込の受付

令和6年1月以降 製品と価格のご案内

令和6年4月以降 出荷開始

共同購入とは、JAグループで生産者の需要をとりまとめ、全国が生産者の代理人として一括発注・仕入れをおこなうことで、製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元する取り組みです。

JAいわてグループ / 全国

共同購入 第3弾

生産者&JA共同購入コンバイン

全国7千件以上の声を反映して 機能を厳選

生産者の皆さまの申込が、低価格実現の大きな力に

4条刈50馬力クラス

現在、全国の生産者の需要結集に向け、事前申込書の取りまとめを実施しております。みなさんの事前申込書が、低価格実現の大きな力となりますので、ぜひご協力をお願いします。

*事前申込は予約ではありません。

要求した主な機能

- 車体水平制御
- 幅広クローラ
- 刈取オートクラッチ
- 掻き込みペダル・スイッチ
- オーガ自動制御(旋回、収納)
- 大型後方ミラー(左右)
- 1日作業可能な燃料タンク

令和5年6月まで 事前申込の受付

令和6年1月以降 製品と価格のご案内

令和6年4月以降 出荷開始(予定)

Q “共同購入”って? どういうこと?

A 共同購入とは、JAグループが生産者の需要をとりまとめ、一括発注を行うことで、メーカーが製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元する取組です。

*1台のコンバインを複数人で購入し、共同利用することはありません。

組合員

1 仕様要求

2 開発要求

3 注文

4 一括発注

5 低コスト販売

JAグループ

メーカー

一括発注をベースに原料コストを削減
製造→出荷により保管コスト低減



福田パン「岩手県産原木乾椎茸入り 豆腐グラタン風サンド」販売

「岩手県しいたけ産業推進協議会×JR東日本×福田パン」のコラボ企画で、「岩手県産原木乾椎茸入り 豆腐グラタン風サンド」が期間限定で販売中です。ぜひご賞味ください。

- 期 間：2023年7月1日～8月31日 毎日10時頃より販売開始
- 販売場所：盛岡駅2F改札口そば「tetoteto」にて販売中。
- 数 量：1日20食限定



期間限定
メニュー



数量
限定

福田パン使用

岩手県産原木乾しいたけ入り！

豆腐グラタン風サンド

Using Iwate produced in Dried Shiitake Mushrooms, Tofu gratin sandwich.

乾しいたけやエビなどと、豆腐、はんぺん、マヨネーズを丁寧に練り上げた美味しくヘルシーなグラタン風味のサンドです。各日10時頃から販売開始。

¥450 (税込)

提供期間 2023年 7月1日 SAT ~ 8月31日 THU

【販売店】

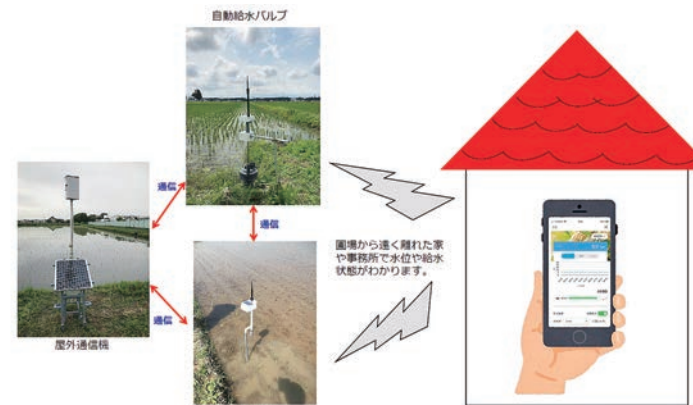
teto

【参加】

livit

【協力団体】

岩手県しいたけ産業推進協議会



生産者と共に奮闘する
営農支援部の活動をレポート

TRY!

営農支援 レポート

水管理システム水位センサー！ 自動給水バルブのご紹介



営農支援部
営農技術課
永友 寛之

本会では、平成28年度からJ-Aと共同で「農家手取り最大化プロジェクト」に取り組んでいます。プロジェクトでは、生産コスト低減や省力化技術を実践メニューとし、J-Aが選定したモデル経営体でその効果を実証しており、効果が明らかとなったメニューについては、モデル経営体以外への水平展開に取り組んでいます。

営農レポートでは、8月号から4回にわたって実践メニューを紹介していきます。今回ご紹介するのは「水位センサー」と「自動給水バルブ」です。

「水位センサー」は、水田に設置したセンサーからの水位の情報を、手元のスマートフォン等でリアルタイムに確認することができる装置です。水位確認のための圃場巡回が省力化されます。「自動給水バルブ」は、パイプラインに設置することで給水バルブの自

動開閉ができる装置であり、水位センサーと同様に、給水のための圃場巡回が省力化されます。さらに、これら2つの装置を併用することで省力化の効果は大きく、水田の水管理にかかる労力が大幅に軽減されることが期待されます。

本会がモデル経営体での実証に使用する「水位センサー」と「自動給水バルブ」は株式会社ファーム（以下、ファーム）製です。ファーム製の推進するポイントには3つで、1つ目は、設置が簡単で大掛かりな工事等が不要であること。水位センサーは設置したい圃場に差し込むだけ。自動給水バルブは既存のバルブの取っ手を外し、装置を直に取り付けるだけで使用できます。2つ目は、操作が簡単であるということ。お手持ちのスマートフォンやタブレット端末に無料の専用アプリをダウンロードすることで圃場から離れた場所から水位を確認することができます。3つ目は、低コストで利用できること。月額利用料金は無料で、ソーラーパネル付きの屋外通信機は無償で貸与されますので、



自動水管理システムの省力効果

- 実証区：通隔・自動水管理システム（区画80m×125m、1筆）
対照区：同システム無し（区画36m×100m、1筆）
- 移動時間：自動水管理システム（区画80m×125m）
- 圃場作業：給水バルブ操作・排水口までの徒歩移動・排水口操作。
その他水管理に直接関係する作業（トラブル復旧対応等）の合計。
- 圃場作業：クラウドアプリへのログイン→起動→開閉・通隔操作→動作状況の確認→終了
- 水見の際の土質観察等の時間は含まない。

株式会社クボタケミックス製「WATARAS」の省力効果
※岩手県スマート農業事例集Ver.3.0より引用

装置代のみで利用が可能です。「スマート農業」を始めるきっかけとして最適なツールだと考えます。

実証にご協力いただいているモデル生産者からは、「これで少しでも水管理が楽になってほしい」「作業効率の改善を図ってほしい」と省力化への大きな期待が寄せられています。

その一方で、「自動給水バルブ」ではパイプラインを流れるゴミ等による「詰まり」に対する改善要望が寄せられており、生産者の生の声をすべてメーカーへフィードバックすることで、製品の改良へつなげていきます。

現在多くの生産者がスマート農業に興味を抱いているように感じます。今後も日々勉強し「生産者」と「スマート農業」を繋げるパイプ役として頑張っていきます。

消費地だより



園芸販売センター
川畑 春海

いわて純情野菜 品目部会活動について

日本一の青果物の取扱量を誇る大田市場には、日々全国各産地から野菜・果実が持ち込まれ、仲卸などと取引が行われています。

そのような大田市場内では、6月頃からこれまでメイン産地であった冬春産地の九州・中京産（西南暖地）等から、徐々に夏秋産地である関東・東北・北海道産へ販売の軸が切り替わりはじめてきました。岩手県産についても、ほうれんそうをはじめとして、レタス類・キャベツ・きゅうり・ピーマン等の入荷量が日々増えてきました。

●6月23日（金）洋菜部会「レタス」
市場担当者4名、全農いわて3名の計7名での開催となりました。市場からは、「今年は全体的に一箱あたりの重量が重く、収穫の遅れが散見されるため、もう少し軽めになるよう適期に収穫してほしい。」



GAPの認証取得は産地の武器となるため（特に加工・業務向けの販売時）、今後も積極的に取得してほしい」と提言をいただきました。

●6月29日（木）葉根菜部会「キャベツ」
市場担当者7名、全農いわて3名の計10名での開催となりました。市場からは、「出荷初期ということもあり、色沢・形状・食味などは良好。今年も群馬・長野県産は潤沢な出荷となる見込みから、厳しい販売環境も想定されるが、シーズンを通して今の品質を維持し、春みどりブランドの向上に努めてほしい」と産地に向けたメッセージをいただきました。

●有利販売に向けて

本県産の出荷時期には各品目競合産地の出荷があり、他産地の出荷量によっては苦しい販売を強いられる場合もあります。しかし、品質低下を防ぐ対策や産地の出荷見通し等の情報があれば、事前売込みをおこなうことができ、競合産地の増量による安値販売に巻き込まれず販売することができそうです。

また、品質査定会を実施することで生産者間・農協間の品質差を改善し、販売先に「岩手県産野菜はどこ

の地域の物でも一定の品質が保たれている」と理解してもらうことで、本県産野菜の固定客の確保と安定販売につながります。

右記以外は、ほうれんそう・アスパラガスで会議を実施し、7月以降はきゅうりやピーマンなど、今後出荷最盛期を迎える品目で部会・査定会を実施します。有利販売に向けて産地と市場双方へ情報を共有してまいりますので、産地では引き続き多くのご出荷をお願いいたします。



JA全農いわての純情人

じゅん じょう びと



園芸部 生産販売課
おがた けいすけ
尾形 圭介さん

●趣味・特技

読書、スマホゲーム。

●現在の担当業務

販売担当（加工業務野菜）、危機管理対策事業（残留農薬分析検査の通知・日程調整）、園芸実績作成、販促資材在庫管理などを行っております。

●これからどんな職員になってみたいか

自分の担当業務に関して、周りから安心して任せてもらえる職員になりたいです。生産者や販売先、各農協の職員など様々な人と繋がりを持つ仕事なので、より多くの人から信頼してもらえる仕事ができるようになりたいと思っています。そのために、まずは今行っている仕事を覚えて一人でできることを増やすため頑張っていきます。

●これからどんな職員になってみたいか

高校の部活でやっていた弓道を再開したいと思い、弓など道具一式を買い揃えました。これから長く続ける趣味として、三日坊主にならないよう自分のペースで楽しんでいきたいなと思います。

Iwate
Junjo Musume
2023

いわて純情むすめ

活動報告

IBC岩手放送じゃじゃじゃTV「純情エール」

令和5年8月12日（土）

8月12日（土）放送のIBC岩手放送じゃじゃじゃTV「純情エール」に2023いわて純情むすめの鷹嘴萌香さんが出演します。

今回は一関市室根町のピーマン生産者の畠山貴一さんのハウスを訪問し、いわて純情boyの千葉翔さん、リポーターの葛巻舞香さんとピーマンの収穫をお手伝いしました。番組内では、畠山さんのピーマン栽培へのこだわりやおすすめレシピが放送されます。

「純情エール」はJA全農いわてYouTubeにも公開しておりますのでぜひご覧ください。



JAいわて中央食農立国おもてなしフェア

令和5年7月8日（土）～9日（日）

7月8日（土）～9日（日）の2日間、盛岡市のユニバース盛岡みたく店で開催された「JAいわて中央食農立国おもてなしフェア」に村中咲心さんが参加しました。本格的な収穫期を前にした岩手県産ズッキーニをPRし、3本購入した人には、岩手のブランド米「銀河のしずく」4合をプレゼントしました。



2023いわて純情むすめInstagram
@iwatejunjou_musume



JA全農いわて YouTubeアカウント



